

今回のエジプト訪問を通して、私は今までとは違う新たな視点や価値観を得ることができました。日本とは異なる事が多く、無意識のうちに日本を基準として世界を見てしまっていた私にとっては、衝撃的なことばかりでした。また、「グローバル化」が進む時代に生きる私たちは、広い視野を持ち、世界を見ていかなければいけないと強く感じました。

神殿やピラミッドなどの遺跡では、古代エジプト文明の神秘さと迫力を感じ、何千年も前の物が時を超え、現代の私たちの目に触れているのは素晴らしいことだと思いました。また、バザールでは商品の値段が決められておらず、お店の方と交渉し、自分が納得する値段で買わなければいけません。私は、この日本とは違った買い物の方法に、とても戸惑いました。しかし、徐々にお店の方とコミュニケーションを図ることができるようになりました。中には「日本がとても好きだ。」「いつか日本に行ってみたい。」とおっしゃっていた方もいました。これを聞き、私はエジプトには親日家が多いことを実感し、日本とエジプトとの友好関係が続いていくことを願いました。

この度、被災した私たちに、異国の事を知る機会を与えてくださったエルシーシ大統領や、充実したプログラムにしてくださった関係者の方々に感謝すると共に、学んだことをこれからの人生に生かしていきたいです。また、歓迎夕食会で、在エジプト日本国大使館の特命全権大使の方が「日本を訪れるエジプトの方はあまり多くない」とおっしゃっていたのを聞き、私は、もっとエジプトの方に日本の文化や魅力を知ってもらいたいと考えました。日本には、外国の方と交流する機会を得るチャンスは多くあります。今回の訪問で、私たちは観光庁日本担当職員のユネスさんなど、多くの方々にエジプトの案内や説明をしていただき、知識を深めることができたと同時に貴重な体験にもなりました。今後、エジプトの方々に日本の文化や歴史を紹介し、さらに国際交流を深めていきたいと思えます。



エドフの神殿



エジプトでの歓迎夕食会